

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 5. 13

下水道機構の『新技術情報』 第91号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

昨日は母の日でしたが、皆様はいかがお過ごしでしたか。カーネーションを求めてお花屋さんへ行ったのですが、気恥ずかしそうにお花を選ぶ男性客の姿が微笑ましかったです♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第91号をお届けします。
業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・5月の技術サロンは横浜市環境創造局の竹内管路保全課長をお迎えして開催しました

■機構の動き

- ・今週は、特に予定はありません

■Tea Break

- ・最下位定位置から脱出できるか（技術評価部 A. Yさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・研究第一部 尾崎部長より、海外出張レポートをお届けします

■国からの情報

- ・5月10日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。○。

●5月の技術サロンは横浜市環境創造局の竹内管路保全課長をお迎えして開催しました
今回のテーマは、「横浜市下水道管路事業の維持管理から見た課題と展望」でした。講師の竹内課長は、一昨年まで当機構の企画部・研究第二部に出向された経験をお持ちの方で、現在は横浜市下水道事業の管路保全に取り組みられています。当日は、横浜市では陶管の多い状況や今後のストックマネジメントに向けてのシステム構築等についてお話しいただきました。重要性の増す維持管理における最新の取り組みを知る良い機会となりました。

さて、次回のサロンは、6月13日木曜日 17:00 から。ゲストには国土技術政策総合研究所下水道部の小川下水道研究室長をお迎えして「B-DASH（管渠マネジメントシステム技術）」についてお話しいたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

◎平成 25 年度 第 1 回

ストックマネジメント手法を踏まえた下水道長寿命化計画策定に関する検討委員会

5月22日(水)13:00~16:00@下水道機構 8階会議室

議題：下水道施設のストックマネジメント手法に関する手引き(案)及び下水道長寿命化支援

制度に関する手引き(案)の改訂検討

◎第 316 回 技術サロン

6月13日(木) 17:00~18:00@下水道機構 8階会議室

ゲスト：国土交通省国土技術政策研究所下水道部 下水道研究室長 小川文章氏

テーマ：「B-DASH（管渠マネジメントシステム技術）について」（仮題）

※参加お申し込みはこちら→

<http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

◎設立 20 周年及び公益財団法人移行記念講演会

6月27日(木) 10:30~15:50@銀座プロッサム（銀座中央会館）ホール

ゲスト：中央大学工学部人間総合理工学科 教授 石川幹子氏

ジャーナリスト アリス・ゴードンカー氏

国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 岡久宏史氏

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/trainings/seminarsp>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●最下位定位置から脱出できるか（技術評価部 A. Yさんからの投稿です）

今年は予想に反して太陽の活動が不活発で、黒点の数も少ないそうです。地球のオゾン層への影響が少ないのは好ましいのですが、長期的には寒冷化の心配もあるとの事です。

例年4月から5月になりますと憂鬱になります。それは横浜 DeNA ベイスターズがダントツの最下位から抜出すことができそうになく、早々とシーズンの私の応援が終わってしまうからです。1978年に現在の横浜スタジアムがオープンし、ベイスターズは川崎球場からここに移ってきました。この年の開幕戦は、当時の飛鳥田横浜市長がヘリコプターから花束をマウンド上に投げて始球式となりました。この日は巨人に4対1で勝って幸先良

5月7日に開催された第10回経済財政諮問会議では、「社会資本整備、ナショナルレジリエンスについて」が議題の一つになりました。資料や大臣記者会見要旨が内閣府のホームページに掲載されています（下記）。

総理大臣からの発言として、社会資本整備に関して、「太田大臣には、限られた予算の中で、真に必要な公共サービスをいかに効率的・効果的に供給していくか、また、地域自らが公共事業とソフト施策をパッケージ化する地域戦略の仕組み作りについて検討していただきたい。また、甘利大臣を中心に、関係大臣と連携して、民間資金を活用したインフラの維持・更新などを推進するため、PPP/PFIの抜本改革についてのアクション・プランを早急に取りまとめていただきたい。特に、PPPを活用した高速道路の大規模改修方策は、都市と高速道路の一体再生に向けた起爆剤である。太田大臣には、具体的な検討を進めていただきたい。古屋大臣には、国土強靱化（ナショナル・レジリエンス）について、ハード・ソフトの連携、重点化・優先順位付けを行うという考え方のもとに、当面必要な対応を検討していただきたい。」

（記者会見要旨より抜粋）

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2013/index.html#tab0422>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

●NP021 世紀水倶楽部主催研究集会の開催について【NP021 世紀水倶楽部】

=====

●NP021 世紀水倶楽部主催研究集会の開催について【NP021 世紀水倶楽部】

東京電力福島第一原子力発電所の事故で環境中に放出された大量の放射性物質は、福島県を中心に広範囲の陸域に蓄積している。これらの放射性物質は除染作業等によって除去が進んできているものの、人への健康影響や生物への影響が懸念されています。下水汚泥についても依然として放射性物質の蓄積がみられており、過去に蓄積した放射性物質を含む廃棄物や新たに発生する放射性物質を含む廃棄物の保管等に苦慮しています。

本研究集会では、事故後2年余りを経て明らかになった陸域における放射性物質の挙動等に関する最新の成果を紹介していただくとともに、放射性物質を含む廃棄物の対応について意見交換を行います。

テーマ：「陸域における放射性物質の挙動を探る」

- ・日時：平成25年7月19日（金）13：30～17：00
- ・会場：（公財）日本下水道新技術機構8F 会議室
- ・プログラム：
 - (1) 流域スケールでの放射性物質の動態 国立環境研究所地域環境研究センター 土壌環境研究室 室長 林 誠二 氏
 - (2) 放射性物質の環境モデリングー陸域モデルー 国立環境研究所環境リスク研究センターリスク管理戦略研究室 主任研究員 今泉 圭隆 氏
 - (3) 湖沼環境への影響ー群馬県・赤城大沼ー 群馬県水産試験場水産環境係 主任 鈴木 究真 氏
 - (4) 放射性物質を含む下水汚泥に係る対応について 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部指定廃棄物対策チーム 課長補佐 岩崎 宏和 氏
 - (5) 総合討論（質疑を含む）

パネラー：講演者 4 名、国土技術政策総合研究所下水道研究部下水処理研究室
室長 山下 洋正 氏

コーディネータ：NP021 世紀水倶楽部 理事 渡部 春樹

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「災害復旧支援マニュアル説明会」の開催について【日本下水道管路管理業協会】
(実施中～6月21日、全国12都市で開催)

<http://www.jascoma.com/jigyo/index-gyoji.html>

→4月5日掲載

=====

【参考情報】

◆二酸化炭素を抑制、新型焼却炉…東京・日野の下水施設 <4/27 読売新聞>

<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=76804>

◆下水浄化センターで野菜植え付け体験 <4/27 佐賀新聞>

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2444340.article.html>

◆藻が石油成分つくる!? 仙台市が下水利用の研究施設 <4/29 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/eco/articles/TKY201304250478.html>

◆ハザードマップ一覧サイト、鹿大准教授が開設 <4/30 読売新聞>

<http://kyushu.yomiuri.co.jp/local/kagoshima/20130430-0YS1T00281.htm>

◆「選択と集中」で老朽インフラ対策を <4/30 日本経済新聞>

<http://www.nikkei.com/article/DGXDZ054516640Q3A430C1PE8000/>

◆潮来・日の出 液状化工事、年内に着手 <5/1 茨城新聞>

http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13673308618387

◆雨水排水に貯留管理設へ 信大病院南側の市道 長野 <5/2 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/nagano/20130502/CK2013050202000007.html>

◆液状化による道路沈下を短繊維で抑制、施工コストも3割減 <5/7 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK0701Y_X00C13A5000000/

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

発行元： 公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
